

高松市牟礼町出身の書家 安部杏邨氏（1926-2008 年）の書と功績を紹介する展覧会を開催します。

安部氏は、古人の優れた筆跡を探求し、それに立脚した格調高い書を数多く残しています。平成4（1992）年に日展で入選した他、県内外の公募展で入賞を重ねるなど、作品が高く評価されました。

また、安部氏の活動は自身の作品制作にとどまらず、後進の育成の他、書道団体等の役員を歴任するなど、多岐に渡り、書を通じて県内の教育文化の発展に寄与しました。13（2001）年には、香川県の憲法記念知事表彰（教育文化功労）を受賞しました。

さらに、その他の功績として、庵治石材産地での活躍が挙げられます。日本三大石材産地の一つとして知られる牟礼町・庵治町において、安部氏は、石碑や墓石に彫るための文字を、石に直接書くことができる数少ない人物であったと言われています。石工とともに作り上げた安部氏の筆による石碑等は、洲崎寺の寺号標や牟礼町慰霊碑など、当館周辺でも見られ、地域に溶けこんでいます。

本展では、安部杏邨氏の作品と関連資料を展示し、書を通した幅広い活躍による功績を紹介します。



＜安部杏邨 略歴＞

書家として活躍すると同時に、書を通して県内の教育文化の発展に貢献した。庵治石材産地において、石碑等に彫るための文字を数多く揮毫した。

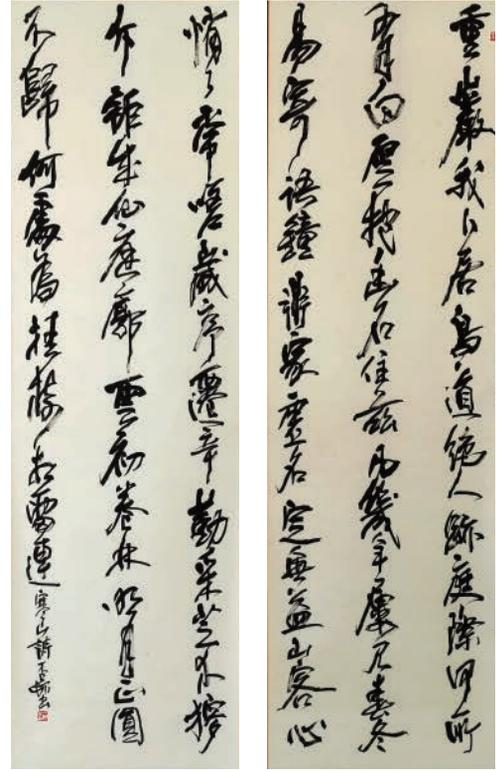
1926-2008、高松市牟礼町生まれ。
青木研碩、西村桂洲に師事。
読売書法会理事、日本書芸院参与。
書朋会主宰。



文房具（個人蔵）



長樂無極（個人蔵）



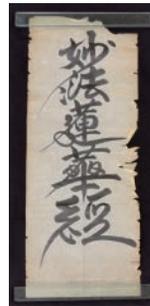
寒山詩（個人蔵）



講演会の様子（個人蔵）



月刊誌「石と人間」（当館蔵）



墓石用の文字（個人蔵）



洲崎寺寺号標



牟礼町慰霊碑



字彫り作業の様子（個人蔵）



墓石用の文字【籠字】（個人蔵）

フロアトーク「父の傍らで」

安部杏邨氏のご家族の方から当館職員が対談形式でお話をうかがいます。

- 〔日 時〕 令和8年4月25日（土） 午後1時30分～午後2時
- 〔会 場〕 企画展示室
- 〔定 員〕 20名程度（先着順、事前申し込み必要）
- 〔参加費〕 無料（但し、観覧券は必要）
- 〔申込み〕 4月7日（火）から電話（午前8時30分～午後5時）で石の民俗資料館まで

高松市石の民俗資料館

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1810

TEL 087-845-8484

開館時間 午前9時～午後5時（展示室入室は午後4時30分まで）

FAX 087-845-5693

HP <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/bunka/ishimin/index.html>

フェイスブックでも情報を発信中！ <https://www.facebook.com/creativetakamatsu>

「いいね！」をお願いします♪

